

○図画 青森児童美術研究会 理事 工藤 玲子 氏

図画部門1部（小学校1年生から3年生）の作品は、みんな一緒にご飯を食べる幸せや、田んぼで働く父さんや手伝いをしている自分など、素直に伸び伸びと表現している作品が多く見られました。特に最優秀賞の相沢恋雪さんの作品は、家族揃って食卓を囲んで「いただきます」と言っている声が聞こえてきそうな素晴らしい作品です。

図画部門2部（小学校4年生から6年生）の作品は、田植えや稲刈りの体験をもとに汗を流して働く清々しさや大胆な画面構成の作品、人物のユニークな作品も見られました。その中でも最優秀賞の丹羽望さんの作品は、後方に雛人形、前方に色とりどりのお寿司を丁寧に描いて、おばあさんとちらし寿司を頂いている自分と弟の様子も入れて、全体的に淡い色調で描いた秀作です。

図画部門3部（中学校1年生から3年生）の作品は、学校数、出品数が少なかったのですが、画面構成や彩色を工夫し、光と影を見事に表現した作品が多く見られました。特に学校給食の配膳の様子や給食時間の様子を描いた作品が多く、その中で最優秀賞の及川那月さんの作品は、存在感のある人物を正面から画面一杯にどっしりと描き、「はい、お食べ」とおにぎりをこちらに手渡そうとしている瞬間を描いた力作です。